学校番号	3032B

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次後期
使用教科書	「書道Ⅱ」　（東京書籍）						
副教材等	最新ペン習字教範 62（日本書写教育研究会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅱでは漢字の書をさらに幅広く深く学習します。楷書，行書，草書等の古典作品の臨書や鑑賞の創造的学習を通して，筆者の個性による線質や字形等に表現される書風の違いや，時代の美意識や流行等による表現の違い等，表現の多様性や表現効果について学び，自分らしい表現に生かしていきます。様々な大きさの紙に，自分の意図や感興に応じて作品を創造的に構想し，個性豊かに表現を工夫して製作しましょう。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の 中の文字や書，書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 書の表現の方法や形式，多様性などについて理解を深めるとともに，書の伝統に 基づき，効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
(2) 書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会 を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式，書の表現の多様性について理解を深めている。 ・書の伝統に基づき，作品を効果的に表現するための技能を身に付け，表している。	・書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に構想し，個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	漢字の書	・書の形式の多様性や時代の美意識・流行や人物の個性に基づく書風等の書表現の多様性について学ぶ。 ・楷書，行書，草書等の多様な古典の臨書活動を通して，書風と用筆・運筆との関わりやその表現効果や風趣との関わりについて理解し，効果的な表現の技能を身に付ける。 ・全体の構成における変化や調和等による表現効果や風趣を実感的に理解し，効果的に表現する技能を身に付ける。 ・画仙紙半切を様々な大きさに用いて，感興や意図に応じて作品を創造的に構想し，表現形式に応じた全体の構成や書体・書風等を工夫し，個性豊かに表現する。 ・完成した作品を鑑賞し合い，書き手の意図に基づいた表現の工夫を理解して，作品のよさや美しさを根拠を持って伝え合う。	a：漢字の書を構成する様々な要素や古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知識） a:線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わり，日本及び中国等の文字と書の伝統と文化，書の美と時代，風土，筆者等との関わりについて理解を深めている。（鑑賞・知識） a:古典に基づく効果的な表現の技能や変化や調和等による全体の構成についての技能を身に付けている。（技能） b:表現形式に応じた全体の構成や，感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 b:作品の価値とその根拠，生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え，書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑賞） c:主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:主体的に鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 相互評価シート	振り返りシート 作品 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度